

弥生日和

～弥生の日常風景～

【伊那新校再編実施計画懇話会】

9月24日に第18回伊那新校再編実施計画懇話会が開催されました。本校からは、懇話会構成員の生徒会長と副会長、意見表明者として1学年ルーム長会から5名の生徒が参加しました。

3月に実施された前回の懇話会では、令和10年4月開校に向けて、本校の敷地に仮設校舎を建てて両校が同じ敷地内で過ごし、令和12年度に伊那北高校の敷地に建てる新校舎の共用を始める一斉統合の案が県から示されていました。その後、校舎建築を早める案が示され、現在の両校生徒が在学中の学校生活に影響が出る可能性が高



まるなか、1年生は弥生祭で全生徒が自らの考えを付箋に記して展示しました。7月には、1年生のルーム長会が今後の学校生活への懸念と情報提供を求める等の思いを表明した意見書を県に提出しました。

こうした経緯を経て、県は新たに構想した別案を含め、生徒・保護者・教職員を対象にアンケートを実施し、その結果も反映させ今回の懇話会での提案に至りました。両校は年次統合により、令和11

年度末の閉校までそれぞれ入学した高校で卒業を迎えることになります。

会の中で生徒会長さんからは「両校の特色ある部活動をどう維持していくのか」、副会長さんからは「年次統合によって先生たちの人数も減っていくが進路は保証されるのか」と心配される点が指摘されました。また、1年生のルーム長会長さんは、県にアンケート実施に対するお礼、生徒の声を新たな案に反映させてくれたことへの感謝の言葉を述べた上で、両校の生徒の負担が軽減されるよう県に配慮を求めました。

生徒たちの声が県に届いたことを実感させられる懇話会でした。